

障がいのある人の雇用に取り組む



FACTORY

(亀岡市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】

和菓子の製造・販売

【障がいのある人の主な仕事】

製造工程での作業、機械や道具の清掃(分解・組立)など



【障がい者雇用の経緯】

20年位前に京都の特別支援学校の紹介で雇用したことが始まりです。2年生から実習して適性を見て雇用してきました。4年前に工場を集約し設立。現在、5名の障がいのある人がここで働いています。障害の特性は多様で、就業・生活支援センターと連携し、必要なサポートを受けています。

【働くことを通して成長してほしい】

製造工程での材料のカットや成形、箱詰め、検品、機械操作、機械や道具の清掃が障害のある人の主な仕事です。機械は定期的に分解・清掃し、組み立てなければなりません。マニュアルがありますが、先輩の作業を見ながら、繰り返し行って覚えていきます。

一番ベテランの人は、五つの工程の作業が出来、難しい「柚餅」の工程も完璧にこなし、マニュアルの監修も行っています。

1人にいくつかの工程の仕事を覚えてもらうようにしています。怒られると不安定になる人や苦手な人の前に行くと泣いてしまう人などもいましたが、支援機関と連携してサポートする中で、短期間に収まりました。

研修は他の社員と同様に受けていただきます。働くことで成長していただきたいと思っています。

【Nさんに聞きました】

まだ、2年目です。実習の時、社員さんが優しく指導してくれ、ここならやっていけると思った。今年から二つ目の工程(カット)を担当しています。

昨年、担当した工程の機械の分解・清掃が出来た時は大変嬉しかった。出来る工程を増やしていきたい。

【Yさんに聞きました】

働いて19年目です。4年前に京都市内の工場から異動してきました。4～5の工程を担当し、作業に使った機械の分解・清掃ができます。

最初は緊張して上手くできず、繰り返し行う中で時間はかかりましたが、出来るようになりました。

休日は、ビデオ鑑賞や料理をして過ごしています。コンサートに行きたいです。



令和4年4月取材